

上川地方本部女性部教宣紙NAO

第4号 2015年7月31日発行

～ひとりひとりが手を取りあい、
ひとつの“和（輪）”をつくっていこう～

発行担当 美瑛町職

♪わお♪



2015年7月4日(土) 上川地方本部女性部女性交流集会

2015年上川地方本部女性部女性交流集会旭川市の「おびった」を会場に開催されました。

前半は、自治労北海道本部 賃金労働部長 櫛部浩二さんを講師に迎え、学習会をしていただきました。「人事評価制度の導入と今後の対応」をテーマに、貴重なお話を聞かせていただきました。

2014年4月の地方公務員法の一部改正に伴う人事評価制度の制定により、平成28年度までに人事評価制度を導入することが規定されました。学習会では、櫛部さんに今回の人事評価制度の導入に至る経

緯や、人事評価制度の目的や内容について分かりやすく説明してもらい、その後6グループに分かれてグループトークを行いました。

人事評価制度の導入に向けて当局と協議をして着々と準備を進めている職場もあれば、「全然知らない！聞いたこともない！」という職場も多くありました。

また、どちらかという人事評価制度の導入に関して不安や心配を感じている方のほうが多く、「評価する人によって評価が異なるならば、公平な評価ができないのではないか。評価する人向けの研修をして欲しい。」という声や、「評価が賃金にそのまま反映してしまっただけでは困る。」という意見もありました。

また、「育児休暇制度をとったら評価が下がってしまうのでは？」「家庭のある女性に不利な制度ではないか」といった女性ならではの不安な思いを抱えた方もいました。

活発なグループトークの後は、私たちの不安な声や様々な質問に対し、櫛部さんが丁寧に答えて下さり、評価に対して賃金がどのように反映するのか、この制度は女性の権利取得で人事評価が下がることはない（そういう法律ではない）ことなどが分かりました。また、評価する側も評価される側も、この制度についてよく学習し、各単組でよく議論して、当局との話し合いの場をもつことが大切であることを教えていただきました。

今回の学習会に参加したことで、人事評価制度に関する不安が少しでも軽減できたのではないのでしょうか。



後半では、富良野GRPUP所属、久保 隆徳さんを講師に迎え、「コミュニケーション・プログラム」について講演していただきました。講演会というよりも、アイスブレイクといった様々なゲームを通して、コミュニケーションや対人関係の取り方について学ぶといった内容でした。

初対面の方とコミュニケーションをとることに抵抗がある方でも、様々なゲームに取り組んでいく中で、気付いたらお互いに自然とアイコンタクトを取って、童心に戻ったように和気あいあいと楽しみながらリラックスした時間を過ごせました。最後のジェスチャーゲームでは、参加者全員が大いに盛り上がることができ、「伝える=自分」、「伝わる=相手」の大切さを実感できるような内容でした。

参加者アンケートでも、「楽しかった。久しぶりに大声で笑った。」「コミュニケーションの大切さがあった。職場でも取り組みたい。」など高評価の声が多かったです。

今回の集会は15単組・総支部41名の集会となりました。



今後の日程

8月8日・9日（土・日）

道本部女性部第5回幹事会（札幌市）

8月下旬～9月下旬

確定期オルグ（ミニブロック単位で開催）

9月中旬～下旬

上川地本女性部第4回幹事会（北部・中南部合同）

9月26日・27日（土・日）

道本部女性部第30回定期総会（札幌市）

10月24日（土）

上川地本女性部第11回定期総会（旭川市）

11月27日・28日（金・土）

上川地本第20回定期総会（旭川市）

【編集後記】

担当した美瑛町職です。美瑛町は今や観光シーズン真っ盛りです。毎日多くの外国人が、レンタカーや自転車で丘めぐりを楽しんでいます。ところで皆さま、映画「愛を積む人」はご覧になりましたか？美瑛町はこの映画のロケ地となっております。撮影で使用された家などが新しい観光名所として賑わいをみせているようです。美瑛町の素晴らしいロケーションをはじめ、夫婦愛、命について考えさせられる素晴らしい映画ですので、ぜひ映画をご覧になってから、美瑛観光にいらしてください。（勝手に宣伝させてもらいました！笑）

ここからは真面目な話になりますが、美瑛町では、今回の学習会の議題でもある人事評価制度の制定について、当局側と協議を進めている最中です。美瑛町では、当局との協議結果を教宣紙で組合員に周知しておりますが、教宣紙だけでどの程度組合員に理解してもらえているのか、少し不安な部分もあります。この制度は自分たちの給与や働き方に影響を及ぼしかねない、決して他人事とは思えない制度です。学習会や研修会などを通して、一人ひとりが知ることから始める必要があるのではないかと思います。今日この頃です。また他町と意見交換したいですね。